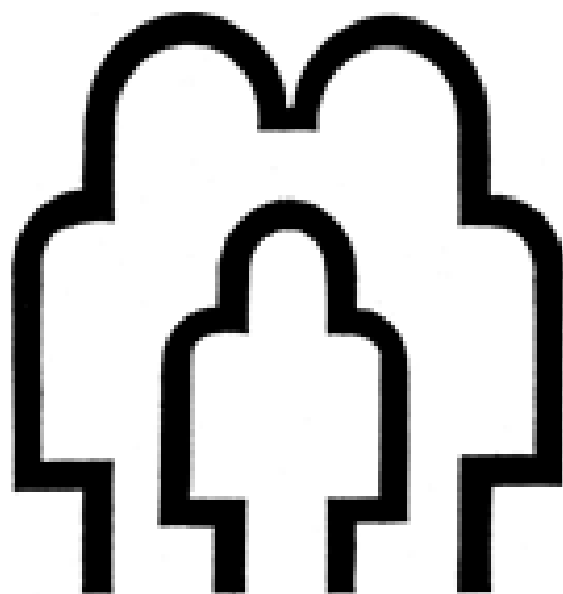


Annual Report

2013

2013 年度 年報



(公財) 岐阜県国際交流センター

Gifu International Center

目 次

はじめに	1
1 公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要	2
2 平成25年度事業報告	4
3 平成26年度事業計画	21
4 資料	29

は じ め に

公益財団法人岐阜県国際交流センターは、地域の国際交流活動を推進する中核的組織として平成元年３月に財団法人として設立されました。平成２４年４月からは国の公益法人制度改革に伴い公益財団法人へと移行しました。

岐阜県が２４年３月に改定した「岐阜県多文化共生推進基本方針」においても、外国籍県民の自立の支援のため、当センターは引き続き、行政と民間団体との連携の仕組みづくりやモデル事業の広域的な普及などの役割を果たすことと位置づけられています。

岐阜県においては平成２６年３月末の外国人登録者数が４２，９４２人と県人口の２．１パーセントを占めています。県内外国人登録者数は平成２０年１１月の５７，６５６人をピークに減少しているものの、本県における国際化の状況は変化してきており、県内で生まれ育つ外国人青少年が増加しています。雇用環境が厳しい中でも、地域に愛着を持ち、定住・永住を希望する外国人が増加し、従来とは異なる多文化共生を軸にした地域社会づくりが求められています。

このような認識のもと、当センターは本県の中核となる国際交流拠点として、県民の国際理解を増進するとともに、国際化推進のための環境づくりを行い、県民主体の多文化共生や国際交流・協力活動を促進し、文化や考え方の多様性が尊重され、安心して暮らせる多文化共生社会の構築のための事業を積極的に展開してまいります。

平成２５年度においては、従来の国際交流・国際協力事業の充実を図るとともに、外国人の自立支援、行政・市町村国際交流協会・NPO・地域住民とのネットワーク強化及びその活動支援、ボランティアに対する研修、民間団体実施事業への助成を通じた活動の活性化を促しました。また医療通訳派遣実証実験を関係機関と協力して実施しました。その結果を受け、今年度より医療通訳ボランティア斡旋事業を実施しております。今後も時代の要請に応えられるよう事業を展開する所存でありますので、引き続き当センターに一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、当センターの平成２５年度の事業をまとめた年報を作成いたしました。皆様のお役に立てば幸いに存じます。ボランティア、賛助会員の方々を始め多くの県民の皆様の多大な御支援にお礼を申し上げます。

平成２６年７月

公益財団法人岐阜県国際交流センター
理事長 森脇 久隆

1 公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要

1 設立の趣旨

岐阜県では、従来の国レベルの国際交流から、県、市町村、住民等のいわゆる草の根レベルの国際交流への進展に対応するため、昭和62年3月に中・長期的な国際交流のあり方を定めた「国際交流基本計画」を策定し、国際交流事業を積極的に実施してきた。また、昭和63年には、「ぎふ中部未来博」を開催し、イベントによる国際交流を実施した。

今後、岐阜県の国際化をさらに進め、「世界のふれあい広場G I F U」を実現するためには、県・市町村、民間団体などが有機的に連携し、各種国際交流施策を強力に推進する必要がある。

このような認識のもとに、県民全体の国際交流活動を活発化させるため、地域の国際交流活動を支援する中核的組織として、財団法人岐阜県国際交流センターが設立された。

2 定款に定める目的

この法人は、地域に根ざした国際交拠点として、岐阜県の豊かな自然環境、歴史、文化、その他の資源をいかした国際交流活動を通じて、多文化共生社会の実現を図るとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 多文化共生の地域づくりに関する事業
- (2) 国際交流に関する事業
- (3) 国際協力に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 設立年月日

平成元年3月31日

5 センターの歩み

昭和61年	2月	「岐阜県国際交流基本の計画（骨子）」の策定
昭和62年	3月	「岐阜県国際交流基本計画」の策定
昭和62年10月		「水と緑の国際交流基金」の設置
昭和63年10月		岐阜県が、国際交流センターの平成元年3月設立、同センターへの「水と緑の国際交流基金」の引継について決定
平成元年	3月31日	財団法人岐阜県国際交流センター設立（知事認可）
平成元年	4月	センター業務開始
平成2年	1月13日	自治省より「地域国際化協会」に認定される
平成6年	8月1日	自治省より「特定公益増進法人」に認定される
平成10年12月	1日	インターナショナルセンター・ギザンをホテル グランヴェール岐山5階に開設
平成13年	5月1日	インターナショナルセンター・ギザンを5階から2階に拡充移設
平成15年12月	1日	インターナショナルセンター・ギザンを2階から3階に移設
平成19年	3月18日	インターナショナルセンター・ギザンを閉鎖
平成21年	3月31日	「ひだみの国際交流・多文化共生推進基金」の取崩、岐阜県へ寄附
平成23年10月	31日	岐阜中日ビル2階に移転
平成24年	4月1日	公益財団法人に移行

6 所在地

岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

7 所管官庁

岐阜県環境生活部環境生活政策課

8 基本財産および積立金

基本財産

5,000,000円
(平成26年3月31日現在)

9 組織(平成26年7月1日現在)

(1) 役員等

理事長	森 脇 久 隆	岐阜大学長
専務理事	古 田 常 道	常勤
評議員	市 来 恭 子	岐阜県国際交流団体協議会事務局長
	市 原 慶 子	女性企業家グループWING代表
	桑 田 博 之	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長
	柴 田 英 文	(社)岐阜県観光連盟常務理事兼事務局長
	辻 正	岐阜県中小企業団体中央会長
	平 井 花 画	岐阜県ユネスコ協会会長
	堀 幹 夫	岐阜女子大学名誉学長
	丸 山 和 美	ネットワーク大学コンソーシアム多文化共生・留学生部会長(朝日大学留学生別科長)
	山 田 實 紘	岐阜県国際交流推進有識者会議委員(社会医療法人厚生会理事長)
理事	森 脇 久 隆	岐阜大学長
	古 田 常 道	常勤
	飯 塚 保 江	岐阜日仏協会会長
	川 瀬 充 弘	学校法人HIRO学園理事長
	篠 田 薫	岐阜県芸術文化会議副会長
	下 屋 浩 実	岐阜県私立中学高等学校協会会長
	鈴 木 禮 子	岐阜県チェコ友好協会会長
	中 村 裕	NPO法人可児市国際交流協会顧問
	渡 邊 久 登	美濃加茂市市民協働部次長
監事	中 島 基 泰	SUN経営税理士法人副所長
	山 田 英 治	岐阜県商工会議所連合会専務理事

(2) 事務局

事務局長(専務理事兼務)

職員 11人

(うち県派遣3人 国際交流員3人 地域国際化推進員3人 在住外国人支援相談員 2名)

平成25年度事業報告
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

当センターは、地域に根ざした国際交流拠点として、本県における多文化共生、国際交流、国際協力を推進するため、次の事業を実施した。

1 多文化共生の地域づくり

(1) 在住外国人支援事業

① 外国籍児童生徒支援事業

ア 就学前事前準備指導事業

NPO法人可児市国際交流協会に委託し、外国にルーツを持つ就学前の児童に対する指導育成事業（プレスクール）を実施した。

日 時：平成25年10月1日（火）～平成26年3月31日（月）

場 所：可児市多文化共生センターFREVIEW

対象者：外国にルーツを持つ就学前の児童 13名

内 容：就学前事前準備指導教室の開催（10月～3月 全118日）

・学校での生活に必要な知識

・先生とのコミュニケーションに必要な日本語指導

・学校に通うための準備指導 ＊指導者にとっての実習の場となる

イ ブラジル人学校児童・生徒進路支援事業

H23年度に美濃加茂市のイザキ・ニュートン・カレッジ、H24年度に大垣市のHIRO学園で開催した当該事業を本年度も実施し、ブラジル人学校の児童・生徒に対する進路指導を行い、日本に残留することの多い児童・生徒の将来について自身で考える機会を提供する進路ガイダンスを実施した。

日 程：平成26年1月14日（火）、15日（水）

場 所：学校法人HIRO学園（大垣市）

対象者：進路ガイダンス 33名（高校1年生、2年生、3年生）

ビジネスマナー講習 32名（9年生、高校1年生、2年生、3年生）

内 容：○進路ガイダンス

・「ルーツ」と「進路」の講義

〔講 師〕愛知淑徳大学 准教授 小島 祥美 氏

（特活）MixedRootsユースネットこんぺいとう代表

渡辺 マルセロ 氏

○ビジネスマナー講習

〔講 師〕（株）トライフィット 専務取締役 安藤 摩里 氏

② 外国人コミュニティ活動サポート事業

ア ラジオ啓発事業

ラジオ（AM放送）を媒体とし、県内の外国人住民に対し、日本での生活情報・防災情報を多言語で発信し、彼らが安心して生活を営めるように支援するとともに、日本人住民に対して多文化共生の意識啓発を行った。

放送名： ワイワイ彩々おしゃべり村

放送日時： 毎月第1日曜日 午後9時～9時15分（15分放送）

平成25年 7月7日（日）、8月4日（日）、9月8日（日）

10月6日（日）、11月3日（日）、12月1日（日）

平成26年 1月5日（日）、2月2日（日）

共催： （公財）岐阜市国際交流協会

放送局： （株）岐阜放送

イ 外国人相談従事者のための意見交流会

在住外国人自らが問題解決できるよう導き支援していくため、外国人相談従事者を対象に、複雑な相談事例の対応方法等を学び人材育成を行うとともに、ワールドカフェ形式で意見交流会を実施し、よりよい支援の為の情報の共有、意見交換を行った。

日 程：平成26年11月5日（火）

場 所：岐阜県シンクタンク庁舎5階 5-1号室

対 象：外国人相談員、通訳者、外国人コミュニティで活動する外国人相談従事者 等

参加費：無 料

参加者：18名

内 容：・複雑な相談事例の対応方法について

・外国人相談従事者のメンタルセルフケアについて

〔講 師〕岐阜県パーソナル・サポート・センター岐阜本所

原中 セザリオ 義之 氏

・参加者と講師を含めた意見交流会

ウ 東海ブロックでの災害時の外国人支援ネットワークの推進

H25年8月29日に平成25年度東海北陸地域国際化協会連絡協議会（福井市で開催）における「災害時における外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会」に参加。

東日本大震災での茨城県における支援活動について、NPO多文化共生マネージャーの高橋氏から、事例を学ぶとともに、同ブロック研究会として、東海北陸地域における災害時ネットワークの効率的且つ実用的な手法の見直しを検討した。

(2) 外国人相談員配置事業

県や市町村の行政窓口等に日本語、ポルトガル語、タガログ語が堪能な外国人相談員を派遣して、在住外国人からの問い合わせ、相談に対して相談対応、通訳対応を行った。また専門家（ブラジル人専門カウンセラー）によるこころの相談等を実施。

相談員の派遣：

- ・相談員：ポルトガル語 1名、タガログ語 1名

・派遣先

＜定期的な派遣＞

県自動車税事務所（ポルトガル語、週1日 4～8月）、県住宅供給公社（ポルトガル語、週1日）、県女性相談センター（タガログ語、月1日）

＜随時の派遣＞

中央子供相談センター、県総合医療センター、岐阜市民病院、中濃厚生病院等

こころの相談：

- ・専門家：アルベス・ヴィヴィカン・ベルナル氏（カウンセリング、精神療法を専門）
- ・実施日数：12日間（日曜日）
- ・相談件数：51件
- ・相談内容：精神の健康25件、家族関係2件、親子関係3件、夫婦関係12件、その他の人間関係1件、子どもの（発達）教育3件、その他5件

(3) 日本語指導者育成支援事業

① 日本語学習支援ボランティア研修事業

日本語指導者の中でも、「プレスクール」（就学前指導）の児童への日本語指導を対象とした人材の育成を図り、下記内容のセミナーを実施した。

在住外国人支援事業で平成23年度から実施しているプレスクール事業の報告も併せて行い、プレスクール事業の理解を深めることで、新しい分野での日本語指導者育成を目指した。

日 時：平成25年9月29日（日） 10:00～16:30

場 所：ふれあい福寿会館 410会議室（岐阜市藪田南5-14-53）

対 象：・プレスクール指導に関心のある方

・日本語指導（日本語支援）に関心のある方

参加費：無 料

参加者：19名

内 容：

○「外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導の基本」

- ・教材の選び方
- ・「日本語教育」と「国語教育」のちがい
- ・児童への日本語指導

〔講 師〕

岐阜大学教育学部 教授 山田 敏弘 氏

「プレスクール指導者としての心得」～可児市でのプレスクール実践～

○岐阜県でのプレスクール事業紹介

- ・プレスクールの必要性
- ・運営体制、カリキュラム、教材、語彙テスト
- ・プレスクール実践の結果、効果、課題
- ・プレスクール参加児童への日本語指導

〔講 師〕

NPO可児市国際交流協会 事務局長 各務 眞弓 氏
日本語指導コーディネーター 近藤 利恵 氏

○外国籍児童への指導と小学校の現状について

- ・発達障害を持つ児童を含む外国籍児童への指導方法

- ・外国籍児童に関する小学校が抱える問題

[講 師]

可児市教育研究所 木村 正男 氏

② 日本語教育連絡会議・研修会の開催

①のセミナーを同会議メンバーへの研修会として位置づけ実施。

2 地域の国際化推進のための環境づくり

(1) 情報サービス事業

① 交流サロン運営事業

当センター内に「交流サロン」を設置。各種国際関係資料（刊行物、辞書・辞典、雑誌、日本語教材、国旗等）の整備や無償貸出、研修室を国際交流団体、NPO、ボランティア団体等の非営利活動のために無償貸出、語学講座や各国の文化を紹介するサロンの開催、在住外国人の日常生活に係る多様な相談に対応した。

平成25年度の交流サロンの利用状況は3,417名（内外国人 503名）

ア 日本語教材・図書の閲覧、メッセージボードの運営、研修室・国旗の貸出

- ・研修室の貸出 33件
- ・国旗の貸出 33件、延べ143ヶ国（普通旗・卓上旗）

イ 外国人の日常生活に関する相談窓口

- ・対応言語：英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
- ・相談者（在住外国人）、県・市町村等の行政窓口、当センター（通訳）の3者同時通話電話による相談も実施した。

ウ 国際交流・国際協力・国際理解教育に関する相談窓口

エ 外国語講座及び文化サロンの開催

- ・外国語講座（英語、ポルトガル語、中国語、仏語、韓国語）
14講座 受講者数1466名
- ・文化サロン 8講座 受講者数 255名
- ・講師：当センター及び県国際戦略推進課の国際交流員等

オ 県・市町村の行政情報等の翻訳、通訳

通訳派遣：11件、翻訳：87件

カ 国際交流員等の学校、市町村国際交流協会等への派遣

学校派遣 12校延べ30名 その他の派遣 21件延べ25名

② 情報提供事業

センターや国際交流団体等の取り組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、在住外国人が母語で生活に役立つ行政関連情報等を多言語で提供するため、刊行物の発行やホームページを通じて発信した。

ア 「世界はひとつ」の発行

- ・国際交流団体等の活動情報、外国人への生活情報、国際交流イベント情報などを掲載した多言語による情報誌
- ・発行部数：年4回 4月号 2250部 7、10、1月号 2550部
(ホームページにも掲載)
- ・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語
- ・配布先：県、市町村、国際交流団体、NPO、大学、外国人学校、病院、商工会議所、賛助会員等

イ 「国際交流の窓」の発行

- ・県、市町村の担当窓口や実施事業、国際交流団体の連絡先や活動内容、姉妹提携の状況等を掲載
- ・発行部数：年1回 140部（ホームページにも掲載）
- ・配布先：県、市町村、国際交流団体、賛助会員等

ウ ホームページの運営

- ・イベント情報等の各種事業案内、国際交流団体の取り組み等紹介
- ・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語

エ 国際交流ネットワークの構築

- ・県内国際交流・協力団体、個人、学校、市町村担当職員などで構成する国際交流・協力ネットワークメーリングリストを運営。
- ・加入者（団体）数：12団体90名（平成26年3月31日現在）

(2) 国際交流・協力事業

① ハローギフ・ハローワールド開催事業

本県に活動拠点を置く国際交流・協力団体、外国支援団体等の活動を広く県民に紹介し、また、各国文化を様々なパフォーマンス、体験等を通じて紹介し、県民と外国人の交流を深めるイベントを岐阜県国際交流団体協議会に委託し、開催した。

- ・開催日 平成25年7月14日（日）10:00～16:00
- ・場所 CINEX HALL、わくわくステージ
- ・入場料 無料
- ・関係団体数 26団体
- ・参加者 約3000名

（3）日伯・日中交流の周年関連事業

① 岐阜県人ブラジル移住100周年関連事業

ア 学校教育等における多文化共生を担う人材育成と教材研究

外国籍児童・生徒における問題として、日本の学校生活にとけこめずドロップアウトしたり、日本語能力が不十分であるために、希望の高校や会社に就職できない等が挙げられるが、その問題の背景には、母国の文化や移住の背景を知らず育ったり、否定的に考え、自分たちのルーツや文化に自信と誇りを持たず、自分の未来に希望が持てないことが存在する。

この問題に対処するため、学校や地域コミュニティで外国籍児童・生徒に指導している教育実践者を対象に、移民の歴史・背景等を正しく伝承するための教材研究、効果的な教育手法（※ESD：持続発展教育）と参加型手法（ワークショップ）、外国籍児童生徒の現状などを学ぶ講座を開催。具体的な教育手法を学んだ人材を育成することで、地域コミュニティで活動する人々のサポートを行った。

開催：全4回 ＊9月～12月は各自で実践 10:30～16:30

対象：小中高等学校の教員、教育委員会の指導主事等の教育関係者の方、多文化共生分野の団体職員、地域住民の方、大学生 等

委託先：（特活）MixedRootsユースネットこんぺいとう

内容：

【1回目】 6月30日（日）10:30～16:30

会場：岐阜中日ビル会議室

参加者数：15名

午前：「ESDとは、なんだろう？」

- ・講座の目的、内容、方法を体験的に理解する。

- ・講師：（特活）MixedRootsユースネットこんぺいとう

午後：「ワークショップ（参加型手法）の面白さを体得しよう！」

- ・移民の歴史理解を目的にしたワークショップの体験を通じて、理解と学び方の習得を目指す。

- ・講師：NPO法人沖縄NGOセンター理事 玉城 直美 氏

【2回目】 7月28日（日）10:30～16:30

会場：ふれあい会館401会議室

参加者数：13名

午前：「地域に暮らす外国人児童生徒の現状を学ぼう！」

- ・岐阜県人のブラジル移民100年の歴史について理解しながら、外国人児童生徒がおかれた現状を学ぶ。

- ・講師：（特活）MixedRootsユースネットこんぺいとう

午後：「ワークショップの作り方のコツを学ぼう！」

流れのあるプログラムの作り方について学び、参加型手法の習熟をめざす。

- ・講師：NPO法人NIED・国際理解教育センター代表 伊沢 令子 氏

【3回目】 8月10日（土）10:30～16:30

会場：岐阜中日ビル会議室

参加者数：13名

午前：「ESDの進め方を考えよう！」

- ・ファシリテーターの役割とワークショップの進め方を確認しながら、各参加者の状況にあわせたプログラムづくりを考える。

- ・講師：（特活）MixedRootsユースネットこんぺいとう

午後：「教えて！学校DE実践の経験からプログラムをつくろう！」

- ・実際に、参加型手法を用いた外国人児童生徒の理解をめざした授業を学校で進めている現場のお話を伺いながら、流れのあるプログラムの作り方について学び、参加型手法の習熟をめざす。

- ・講師：環境省中部環境パートナーシップオフィス

チーフプロデューサー 新海 洋子 氏

実践講座 9月～12月

参加者各自で総合学習等の学校教育や市民講座等の社会教育の場で実践

【最終回】 1月25日(土) 10:30~16:30

会場：ふれあい会館405会議室

参加者数：9名

午前：「理解を深めよう！」

- ・実践の共有、研修成果のふりかえりなどを行いながら、午後の成果報告会の準備を行います。

午後：「成果報告会からつなげよう！」

- ・実践の結果を踏まえた、教材や教え方などの改善を研究する。

全体のファシリテーター：(特活) MixedRootsユースネットこんぺいとう
代表理事 渡辺 マルセロ 氏
愛知淑徳大学 准教授 小島 祥美 氏

イ 教材開発及び移民の歴史・文化の継承の場づくり

岐阜県人ブラジル移住100周年記念事業の一環として実施した「岐阜・ブラジル交流ウィーク」にて「ブラジル・岐阜紹介パネル展」を開催した。(パネル制作・展示は(株)岐阜新聞社へ委託)

パネル展写真については、センターHPへ多言語にて掲載した。(デジックスアンドリンク(株)へ委託)

日時：平成25年11月19(火)から29日(金)

会場：ふれあい福寿会館2階アトリウム

内容：

○ブラジル・岐阜紹介パネル展

平成25年11月19(火)から29日(金)

ブラジルと岐阜との関わりを振り返り、歴史、各種交流事業をパネル写真で紹介。

○ブラジル音楽コンサート

平成25年11月19日(火) 12:20~12:50

- ・学校法人HIRO学園の幼児部と小学1年生によるダンス披露
- ・能登川忠雄氏、松原茂生氏によるギター&ドラム

平成25年11月26日(火) 12:20~12:50

- ・GIRASSOL(ジラソウ)の演奏

○郷土の先人に学ぶ講演会

平成25年11月20日(水) 13:30~16:00

日本人のブラジル移住と両国の経済文化交流の礎を構築し、日伯関係に大きな貢献を納めた岐阜市出身の平生鈇三郎(ひらおはちさぶろう)氏の功績について、2名の研究者による講演

第1部 甲南大学非常勤講師

高田 博次 氏

第2部 (財)日伯経済文化協会(ANBEC)専務理事、甲南学園平生鈇三郎研究委員会委員・同大学非常勤講師

栗田 政彦 氏

② 岐阜県・中国江西省友好提携25周年関連事業

岐阜県・江西省友好提携25周年を記念した絵画交流を実施した。小学校間で共通のテーマを設定し、そのテーマに基づき絵画制作を行い、双方の学校で作品展示するとともに、児童による人気投票に基づく優秀作品の表彰、感想の交換を行った。

実施校：岐阜県・江西省各2校

① 海津市立東江小学校

(5年生19名、6年生19名 計38名)

南昌師範附属実験小学校玉泉島キャンパス

(4年生1名、5年生23名、6年生19名、計43名)

テーマ「ふるさとの宝もの」

② 安八町立名森小学校

(5年生31名、6年生20名 計51名)

豊城市実験小学校

(3年生13名、4年生12名、5年生12名、6年生13名、計50名)

テーマ「ふるさと安八」

表彰式：・海津市立東江小学校

日時：平成26年2月14日(金) 14:30~

場所：東江小学校内

・安八町立名森小学校

日時：平成26年1月24日(金) 15:00~

場所：名森小学校内

絵画展示：＜中国での展示＞

岐阜県訪問団の中国江西省訪問（１１月５日～８日）に際し、岐阜県側、江西省側の絵を展示。訪問団による視察が行われた。（於：南昌師範付属実験小学校玉泉島キャンパス）

＜日本での展示＞

中国側の絵画及び日本側受賞作品を以下のとおり展示（於：各校内）

・海津市立東江小学校

会期：平成２６年２月１２日（水）～２月２１日（金）

・安八町立名森小学校

会期：平成２６年１月１５日（水）～１月２４日（金）

（４）外国人留学生奨学金支給事業

県内の大学等で学ぶ外国人留学生の中で、経済的に厳しい状況にある私費留学生に奨学金を支給した。

推薦者数：１０大学１０名

交付決定者数：５大学５名（内訳：中国３名、韓国１名、メキシコ１名）

支給額：３６万円（月３万円×１２月）／人

３ ボランティア・民間団体の活動促進

（１）ボランティア支援事業

① ボランティア登録制度の運営

語学等のボランティア募集・登録・紹介を行うとともに、ボランティアを対象とした研修会等を通じてボランティアの育成を図った。

登録数（平成２６年３月３１日現在）及び紹介状況

ボランティア登録者数：１３１名（平成２６年３月３１日現在）

・語学	登録	５３名、紹介１件（１名）
・日本語支援	登録	５４名、紹介０件（０名）
・ホームステイ	登録	２５名、紹介１件（１名）
・災害時語学サポーター	登録	４３名、派遣０名

② 医療通訳ボランティア派遣システム実証実験事業及び医療通訳ボランティア研修

昨年度より実施している実証実験（医療通訳ボランティア派遣）を継続して実施した。また、５月にはボランティア登録試験を開催した。

〔医療通訳ボランティア登録試験〕

開催日 平成２５年５月２９日（水）

対象言語 ポルトガル語、中国語、タガログ語

試験内容 ロールプレイ実技、面接（共に１５分程度）

受験者 タガログ語３名、中国語１名、ポルトガル語４名、計８名

試験結果 合格者：タガログ語３名、中国語１名、ポルトガル語３名、計７名

不合格者：ポルトガル語１名

・協定締結医療機関：１２病院
・依頼：１８５件
・派遣：１５０件

③ 災害時語学ボランティア研修

災害が発生した際、外国籍住民に対して的確な情報提供や支援ができるよう、災害知識を擁する語学ボランティアを発掘し、その育成を図り、自治体、地域国際交流協会、ボランティア等が連携して行う災害時の対応・体制整備を検討する研修会と外国人住民に対する防災体験セミナーをＮＰＯ美濃加茂市国際交流協会と協力して実施した。

日時：平成２６年２月２日（日） １０：００～１７：００

会場：美濃加茂市生涯学習センター

参加者：サポーター研修 ２０名

防災体験セミナー ９名（美濃加茂市在住外国籍住民）

内容：・多言語支援センターの設置・運営訓練と避難所巡回訓練

・外国人避難所体験ワークショップ

講師：ＮＰＯ法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木 和彦 氏
理事 高橋 伸行 氏

演劇ワークショップユニット・ＭＩＣＨＩ（みち）

④ 医療通訳サポーター研修

岐阜大学医学部の協力を得、当該サポーターを養成する研修を実施した。

日時：平成２５年１２月１日（日） １０：００～１７：００

場所：岐阜大学 医学系研究科・医学部 教育・福利棟４Ｆ

対象：医療通訳に興味のある方

参加費：無 料
定 員：43名
内 容：

○「医療通訳の基礎」（座学）

医療通訳を行うにあたっての基本的知識、姿勢を専門家から学ぶ。

主な内容：医療通訳の現状、医療通訳基準、通訳の心構え、通訳時の注意点
[講 師]

多文化共生センターきょうと 理事長 重野 亜久里 氏

○バーチャル病院で医療知識を学ぶ

医療通訳における必要な医療知識を、岐阜大学医学部医師・医学生による
実際の機器を使った説明や体験を通じて学ぶ。

取り上げる医療知識：超音波、心電図、注射、薬品、血圧、BLS等 （予定）
[講 師]

岐阜大学医学部 安部准教授、他医学生等4名

（2） 助成事業

国際交流・多文化共生推進助成事業

県内の団体又は個人が実施する国際交流・協力並びに多文化共生社会づくり事業に
対し助成した。

・助成件数： 29件（1件交付決定後助成辞退）

・交 付 額： 10,132千円

※助成対象事業は別表1のとおり

*助成件数と助成金額の推移

年 度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
助成件数	50件	41件	34件	31件	24件	22件	19件	17件	14件	26件	29件
助成金額（千円）	16,343	15,222	12,093	12,743	12,867	11,795	14,681	6,294	5,429	9,738	10,132

■賛助会員数 加入者（団体）数：個人76名76口、53団体90口
（平成26年3月31日現在）

4 理事会・評議員会の開催

財団運営に関する事業計画・報告、収支予算・決算その他重要な事項についての審議、決定を受けるための理事会を4回、評議員会を3回開催した。

①理事会の開催状況

第1回理事会：平成25年4月17日（決議の省略）

第1号議案 臨時評議員会の招集について

第2号議案 会計処理規程の一部改正について

第3号議案 会計処理規程取扱細則の一部改正について

第4号議案 事務決裁規程の一部改正について

第5号議案 事務局規程の一部改正について

第2回理事会：平成25年6月10日

第1号議案 平成24年度事業報告の承認の件

第2号議案 平成24年度計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、及び財産目録）の承認の件

第3号議案 平成25年度定時評議員会の招集の決定の件

報告事項1 平成25年度職務執行状況について

報告事項2 平成25年度国際交流・多文化共生推進事業助成金（1次募集）の審査結果について

第3回理事会：平成25年10月17日（決議の省略）

第1号議案 平成25年度収支補正予算について

第2号議案 会計処理規程の一部改正について

第4回理事会：平成26年3月10日

第1号議案 平成26年度事業計画及び収支予算等の承認について

第2号議案 中国人留学生奨学特別基金の取り崩しについて

第3号議案 遊休財産額の保有上限額超過への対処について

第4号議案 臨時評議員会の招集について

報告事項1 理事長・専務理事の職務の執行の状況の報告

②評議員会の開催状況

第1回評議員会：平成25年4月24日（決議の省略）

第1号議案 補欠理事の選任について

第2号議案 役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正
第2回評議員会：平成25年6月26日
第1号議案 平成24年度度計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、及び財産目録）の承認の件
報告事項1 平成24年度事業報告について
第3回評議員会：平成26年3月17日（決議の省略）
第1号議案 理事1名の選任の件
報告事項 平成26年度事業計画、収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

5 資金調達等の状況

- (1) 資金調達 なし
- (2) 設備投資
固定資産の取得
 - ・ノート型パソコン3台 470,925円

平成25年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。

平成25年度「国際交流・多文化共生推進事業」助成金事業一覧表(全期分)

【単位:円】

対象事業		No	事業名	主催者	事業費	交付決定額	最終助成額	備考
第1次募集	国際交流・協力事業	1	第3回「日韓交流強化事業」 第3回全国高等学校アーチェリー競技ブロック対抗戦および合同強化合宿	(公財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	2,647,045	500,000	500,000	
		2	日本文化の紹介・体験、高校生と外国人の交流事業	日本語ひろば羽島市	61,447	35,000	28,000	
		3	日本国岐阜県・中国江西省友好提携25周年記念事業「輝く芽」石像の建立、中国江西省の子どもの作品展等	岐阜日中協会	498,587	219,000	197,000	
		4	第14回海外児童文化交流派遣事業	大垣竹の子会	1,036,031	90,000	90,000	
		5	アフリカの子ども達に愛の靴を・文房具を 2013	(特活)ぎふ・コートジボワール	1,372,503	500,000	500,000	
		6	岐阜市・フィレンツェ市姉妹都市連携35周年記念創作オペラふるさとの昔話「豆の本地蔵」・「きつねの嫁入り」	岐阜市民文化訪伊団	16,554,930	500,000	500,000	
		7	香港城市大学専上学院・岐阜県「日本語研修・日本文化体験」事業	岐阜県世界青年友の会	2,009,771	500,000	500,000	
		8	欧州及びアメリカにおける日本文化紹介と現地指導者育成事業	白鳳古式くみひも道	2,087,349	500,000	500,000	
		9	第31回 ネオ・ダール展	ネオ・ダール会	656,282	135,000	135,000	
		10	日中不再戦碑建立50周年記念冊子作成事業	岐阜県日本中国友好協会	1,861,650	500,000	500,000	
	多文化共生推進事業	11	定住中国籍住民の生活支援	美濃加茂華友会	781,870	500,000	500,000	
		12	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業	関市国際交流協会	675,617	448,000	423,000	
		13	外国人児童放課後学習支援事業	可児ミッション	877,365	500,000	500,000	
		14	“多文化共生のまちづくり”地域コミュニティとのつながりづくり	(特活)泉京・垂井	454,994	500,000	296,000	
		15	外国人市民のための日本語教室「入門コース2013」	(公財)大垣国際交流協会	384,165	258,000	256,000	
		16	あんしん、安全のための多言語情報提供事業	(特活)可児市国際交流協会	863,619	500,000	500,000	
		17	ブラジル移民100周年企画 移動する家族のライフヒストリー「岐阜で今を生きる私たち。」	(特活)MixedRootsユースネット こんべいとう	0	500,000	0	※助成辞退
		18	多様な価値観とグローバルな視野を持つ人材育成 ～多文化共生の橋渡し役～	(特活)ブラジル友の会	443,230	404,000	158,000	
		19	コミュニティサポートプロジェクト 2013	(特活)市民協働支援機構	817,414	500,000	458,000	
		20	外国人のための日本語講座	(公財)岐阜市国際交流協会	1,696,902	500,000	459,000	
小 計(A)				35,780,771	8,089,000	7,000,000		
第2次募集	国際交流・協力事業	1	日本・カンボジア王国・友好60周年記念 柳ヶ瀬商店街カンボジア写真パネル展 「カンボジア国民が愛するCAMBODIA」	(特活)ジンセン	1,091,000	500,000	500,000	
		2	青年育成事業「旅に出よう！それを語ろう！」	日中コミュニティ推進会	1,143,419	500,000	496,000	
		3	イタリア地方都市の底力をイタリア建築から学ぶ。講座	岐阜日伊協会	172,458	69,000	49,000	
		4	岐阜県・中国江西省友好提携25周年を記念した植樹及び銘盤の配置	(公財)オイスカ岐阜県支部	156,450	79,000	78,000	
		5	一期一会仲よし交流会	みの池田町国際親善を進める会	129,154	64,000	58,000	
		6	～モロッコの子供達と笑顔の交流 Ⅲ ～「絵本支援プロジェクト」	岐阜ボランティアサークル	1,800,000	500,000	500,000	
		7	ゆきこまミュージカル南米公演	子ども芸術・文化を育てる会	50,759,855	500,000	500,000	
		8	アフガニスタンについての講演会	(特活)飛鳥	418,066	256,000	178,000	
	多文化共生推進事業	9	フェイスブックを利用した行政情報の外国語による提供	多文化共生サービス岐阜	720,000	500,000	273,000	
		10	フィリピン人住民の起業家精神育成事業	在日コルディレラ出身者の会	861,000	500,000	500,000	
小 計(B)				57,251,402	3,468,000	3,132,000		
合 計(A)+(B)				93,032,173	11,557,000	10,132,000		

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	52,595,202	74,266,840	△ 21,671,638
未収金	12,440	3,428	9,012
前払金	14,200	14,200	0
流動資産合計	52,621,842	74,284,468	△ 21,662,626
2.固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
在住外国人支援相談員配置事業実施資金	12,050,895	15,517,774	△ 3,466,879
中国人留学生奨学特別基金	4,700,000	5,780,000	△ 1,080,000
センター外国人留学生奨学基金	2,000,000	2,720,000	△ 720,000
国際交流・多文化共生推進事業基金	48,140,000	35,000,000	13,140,000
特定資産合計	66,890,895	59,017,774	7,873,121
(3) その他固定資産			
什器備品	2,329,301	2,565,064	△ 235,763
無形固定資産	17,010	39,690	△ 22,680
敷金	871,000	871,000	0
その他固定資産合計	3,217,311	3,475,754	△ 258,443
固定資産合計	75,108,206	67,493,528	7,614,678
資産合計	127,730,048	141,777,996	△ 14,047,948
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	7,281,459	8,622,784	△ 1,341,325
預り金	195,784	248,201	△ 52,417
賞与引当金	876,315	746,303	130,012
流動負債合計	8,353,558	9,617,288	△ 1,263,730
負債合計	8,353,558	9,617,288	△ 1,263,730
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	11,700,000	13,500,000	△ 1,800,000
指定正味財産合計	11,700,000	13,500,000	△ 1,800,000
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,700,000)	(8,500,000)	(△ 1,800,000)
2.一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(60,190,895)	(50,517,774)	(9,673,121)
正味財産合計	119,376,490	132,160,708	△ 12,784,218
負債及び正味財産合計	127,730,048	141,777,996	△ 14,047,948

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,800	2,807	△ 7
基本財産受取利息	2,800	2,807	△ 7
特定資産運用益	19,050	21,291	△ 2,241
中国人留学生奨学基金受取利息	1,743	2,063	△ 320
外国人留学生奨学基金受取利息	952	1,378	△ 426
在住外国人支援相談員配置実施資金受取利息	2,500	5,250	△ 2,750
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	13,855	12,600	1,255
受取会費	639,700	688,700	△ 49,000
賛助会員受取会費	639,700	688,700	△ 49,000
受取補助金等	42,671,813	43,314,190	△ 642,377
受取県補助金	40,744,700	43,276,610	△ 2,531,910
受取助成金	1,927,113	37,580	1,889,533
受取負担金	430,300	465,200	△ 34,900
受取参加者負担金	230,300	265,200	△ 34,900
受取国際協力推進事業負担金	150,000	150,000	0
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50,000	50,000	0
受取寄付金	1,800,000	1,800,000	0
受取寄付金	1,800,000	1,800,000	0
雑収益	37,096	71,675	△ 34,579
情報機器利益収益	5,760	6,360	△ 600
受取利息	31,336	60,675	△ 29,339
雑収益	0	4,640	△ 4,640
経常収益計	45,600,759	46,363,863	△ 763,104
(2) 経常費用			
事業費	49,924,204	51,250,371	△ 1,326,167
非常勤専門職報酬	13,980,655	13,731,552	249,103
役員報酬	2,504,616	2,949,118	△ 444,502
職員手当	1,399,794	1,298,608	101,186
法定福利費	4,867,207	4,551,657	315,550
賃金	0	0	0
報償費	1,194,468	1,284,108	△ 89,640
費用弁償	285,310	339,738	△ 54,428
業務旅費	231,246	533,814	△ 302,568
消耗品費	783,275	802,741	△ 19,466
対外交流費	14,690	0	14,690
会議費	2,832	5,772	△ 2,940
光熱水費	541,984	530,534	11,450
印刷製本費	1,049,428	1,074,794	△ 25,366
修繕料	0	25,200	△ 25,200
通信運搬費	751,583	795,291	△ 43,708
手数料	13,650	13,650	0
保険料	8,172	82,682	△ 74,510
委託料	5,233,542	5,185,317	48,225
賃借料	3,911,068	3,431,152	479,916
負担金	5,000	7,100	△ 2,100
助成金	10,132,000	11,590,044	△ 1,458,044
奨学金	1,800,000	1,800,000	0
賞与引当金繰入	623,937	649,284	△ 25,347
公課費	1,400	1,200	200
減価償却費	588,347	567,015	21,332

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	6,660,773	7,731,683	△ 1,070,910
非常勤専門職報酬	281,219	201,011	80,208
役員報酬	3,211,180	3,754,452	△ 543,272
職員手当	349,944	556,534	△ 206,590
法定福利費	894,959	1,028,597	△ 133,638
費用弁償	34,566	31,847	2,719
業務旅費	132,603	110,691	21,912
消耗品費	77,055	92,233	△ 15,178
会議費	13,026	12,900	126
光熱水費	118,159	127,690	△ 9,531
印刷製本費	12,122	7,231	4,891
修繕料	0	0	0
通信運搬費	91,623	104,967	△ 13,344
手数料	107,818	110,628	△ 2,810
委託料	0	0	0
賃借料	742,500	789,313	△ 46,813
消耗品什器備品費	0	338,940	△ 338,940
負担金	189,900	208,550	△ 18,650
公課費	10,700	11,200	△ 500
賞与引当金繰入	252,378	97,019	155,359
減価償却費	141,021	147,880	△ 6,859
経常費用計	56,584,977	58,982,054	△ 2,397,077
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,984,218	△ 12,618,191	1,633,973
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,984,218	△ 12,618,191	1,633,973
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度什器備品修正額	0	35,013	△ 35,013
什器備品除却損	0	6,199	△ 6,199
什器備品売却損	0	0	0
経常外費用計	0	41,212	△ 41,212
当期経常外増減額	0	△ 41,212	41,212
当期一般正味財産増減額	△ 10,984,218	△ 12,659,403	1,675,185
一般正味財産期首残高	118,660,708	131,320,111	△ 12,659,403
一般正味財産期末残高	107,676,490	118,660,708	△ 10,984,218
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 1,800,000	△ 3,533,105	1,733,105
当期指定正味財産増減額	△ 1,800,000	△ 3,533,105	1,733,105
指定正味財産期首残高	13,500,000	17,033,105	△ 3,533,105
指定正味財産期末残高	11,700,000	13,500,000	△ 1,800,000
III 正味財産期末残高	119,376,490	132,160,708	△ 12,784,218

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

平成22年度会計から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 …… 平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

ソフトウェア …… 定額法によっている。

なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 次年度予算に計上した額を支給見込額として、当該事業年度に帰属する期間相当分を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式によって行っている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
在住外国人支援相談員配置事業実施資金				
定期預金	15,517,774		3,466,879	12,050,895
中国人留学生奨学特別基金				
定期預金	5,780,000	0	1,080,000	4,700,000
センター外国人留学生奨学基金				
定期預金	2,720,000	0	720,000	2,000,000
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定期預金	35,000,000	13,140,000	0	48,140,000
小 計	59,017,774	13,140,000	5,266,879	66,890,895
合 計	64,017,774	13,140,000	5,266,879	71,890,895

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000		(5,000,000)	
小 計	5,000,000		(5,000,000)	
特定資産				
在住外国人支援相談員配置事業実施資金				
定期預金	12,050,895	(12,050,895)		
中国人留学生奨学基金				
定期預金	4,700,000		(4,700,000)	
センター外国人留学生奨学基金				
定期預金	2,000,000		(2,000,000)	
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定期預金	48,140,000	(48,140,000)		
小 計	66,890,895	(60,190,895)	(6,700,000)	
合 計	71,890,895	(60,190,895)	(11,700,000)	

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	10,247,690	7,918,389	2,329,301
合 計	10,247,690	7,918,389	2,329,301

無形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
PCA公益法人会計ソフトV10	113,400	96,390	17,010
合 計	113,400	96,390	17,010

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記 載区分
補助金						
平成25年度岐阜県 国際交流センター補 助金	岐阜県	0	40,744,700	40,744,700	0	-
助成金						
地域国際化協会連 絡協議会研修助成 金	地域国際化 協会連絡協 議会	0	13,980	13,980	0	-
多文化共生のまちづ くり促進事業助成金	自治体国際 化協会	0	1,838,133	1,838,133	0	-
東海テレビ国際基金 助成金	東海テレビ 国際基金	0	75,000	75,000	0	-
合 計		0	42,671,813	42,671,813	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金	1,800,000
受取県補助金	0
合 計	1,800,000

9 関連当事者との取引の内容

該当なし。

10 重要な後発事象

該当なし。

11 その他

該当なし。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	746,303	876,315	746,303		876,315

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
I 資産の部				
1.流動資産				
現金預金				
現金		つり銭	運転資金として	10,000
決済用預金		十六銀行県民ふれあい会館出張所	運転資金として	13,062,539
定期預金		三菱東京UFJ銀行岐阜支店	運転資金として	3,466,879
決済用預金		十六銀行県民ふれあい会館出張所	歳入歳出外用	195,784
決済用預金		十六銀行県民ふれあい会館出張所	賛助会員用	0
定期預金		大垣信用金庫県庁前支店	運転資金として	10,000,000
定期預金		十六銀行県民ふれあい会館出張所	運転資金として	5,000,000
定期預金		大垣共立銀行県庁前支店	運転資金として	10,000,000
定期預金		岐阜信用金庫本店営業部	運転資金として	10,000,000
定期預金		ゆうちょ銀行岐阜県庁支店	運転資金として	860,000
未収金		労働保険料		12,440
前払金				14,200
流動資産合計				52,621,842
2.固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金		十六銀行県民ふれあい会館出張所	公益目的保有財産	5,000,000
基本財産合計				5,000,000
(2) 特定資産				
在住外国人支援相談員配置事業実施資金		定期預金 みずほ銀行岐阜支店	特定費用準備資金であり、在住外国人支援相談員配置事業に充当している	10,000,000
		定期預金 三菱東京UFJ銀行岐阜支店	特定費用準備資金であり、在住外国人支援相談員配置事業に充当している	2,050,895
中国人留学生奨学特別基金		定期預金 三菱UFJ信託銀行岐阜支店	公益目的保有財産であり、運用益を外国人留学生奨学金事業に供している	4,700,000
センター外国人留学生奨学基金		定期預金 ゆうちょ銀行岐阜県庁支店	公益目的保有財産であり、外国人留学生奨学金事業に供している	2,000,000
国際交流・多文化共生推進事業基金		定期預金 西濃信用金庫金華橋支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金 関信用金庫長森支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金 商工組合中央金庫岐阜支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金 岐阜商工信用組合本店営業部	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	5,000,000
		定期預金 ぎふ農業協同組合本店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金 三菱UFJ信託銀行岐阜支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	3,140,000
特定資産合計				66,890,895
(3) その他固定資産				
什器備品				2,329,301
事務机、応接セット他		取得価額 10,247,690 円 償却累計額 7,918,389 円	公益目的事業86.2%及び管理業務13.8%に使用している。	
無形固定資産				17,010
公益法人会計ソフト		取得価額 113,400 円 償却累計額 96,390 円	管理業務に使用している。	
敷金			公益目的事業81.2%及び管理業務18.8%に使用している。	871,000
その他固定資産合計				3,217,311
固定資産合計				75,108,206
資 産 合 計				127,730,048
II 負債の部				
1.流動負債				
未払金		国際交流・多文化共生推進基金助成金 他	公益目的事業に供する未払い分他	7,281,459
預り金		社会保険料本人負担分 他	非常勤専門職等4名分他	195,784
賞与引当金		賞与引当金	職員4名に対する賞与の支払いに備えたもの	876,315
流動負債合計				8,353,558
負 債 合 計				8,353,558
正 味 財 産				119,376,490

3 平成26年度 事業計画

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

I 基本方針

平成元年3月に設立した当センターは、国の公益法人制度改革に伴い、平成24年4月より公益財団法人に移行した。今後もより一層、県レベルの国際化を推進する地域国際化協会として、また、県の外郭団体として、公益法人の役割と責務を自覚し、県民、地域に信頼されるセンターとなる必要がある。

また、平成24年3月に岐阜県が改定した「岐阜県多文化共生推進基本方針」においても、外国籍県民の自立の支援のため、当センターは引き続き、行政と民間団体との連携の仕組みづくりやモデル事業の広域的な普及などの役割を果たすことと位置づけられている。

一方、本県における国際化も変化しており、県内で生まれ、育つ外国人青少年が増加し、雇用環境が厳しい中でも、地域に愛着を持ち、定住・永住を希望する外国人が増加し、従来とは異なる多文化共生を軸にした地域社会づくりが必要である。

このような認識のもと、当センターは、本県の中核となる国際交流拠点として、県民の国際理解を増進するとともに、国際化推進のための環境づくりを行い、県民主体の多文化共生や国際交流・協力活動を促進し、文化や考え方の多様性が尊重され、安心して暮らせる多文化共生社会の構築のための事業を積極的に展開する。

なお、当センターの財政・運営環境は厳しい状況にあるため、経営基盤の充実と業務の効率化を図るとともに、様々な団体等との役割分担を再確認しつつ、連携・協働を一層深め、広域的、モデル的な事業を中心に効果的に進めることとする。

II 重点目標

1 多文化共生の地域づくり

外国人コミュニティの問題解決能力の向上、外国籍児童生徒への教育支援等により、外国人の自立支援を進める。

2 地域の国際化推進のための環境づくり

行政、市町村国際交流協会、NPO、ボランティア団体、地域住民とのネットワークを強化し、それぞれのニーズの把握に努めるとともに、情報発信や活動の場の提供等を通じての活動支援を行う。

また、岐阜県版多文化共生社会のあり方について広く県民と考える機会をつくるとともに、地域を担う人材育成も行う。

3 ボランティア・民間団体の活動促進

ボランティアの研修、民間団体の実施事業への助成等を通じて、県民や民間団体の主体的な取り組みを支援し、活動の活性化を図る。

4 経営基盤の整備

賛助会員の拡大、広告掲載等により経営基盤の強化を図る。

Ⅲ 事業計画

多文化共生の地域づくり

1 在住外国人支援事業【8,562千円】

(1) 外国籍児童生徒支援事業

外国籍の子どもが大人になった際に一社会人として自立できるためには進路支援が大変重要である。そのため、進学や進路に悩む県内在住の外国籍の子どもたちを、市町村、市町村国際交流協会、NPO、ボランティア団体等と連携し、支援する。

- ・進路ガイダンスの実施
- ・放課後学習教室、就学前事前準備指導教室（プレスクール）運営及び指導者育成研修

(2) 外国人コミュニティ活動サポート事業

外国籍県民の自立と社会参画を促進するためには、外国人コミュニティ及び外国人コミュニティと日本社会を繋ぐNPO等の育成、また、それらの団体が直面する様々な課題に自らが取り組み、解決する能力の向上が重要である。そのため、人材育成や課題解決の支援のための研修等を実施し、コミュニティ活動や支援活動が円滑に行えるよう支援する。

- ・人材育成、課題解決能力の向上のための研修
- ・コミュニティ活動等の支援事業（メディア等を活用した情報提供サービス等）

(3) 東海北陸ブロックでの災害時の外国人支援ネットワークの推進

東海北陸の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会」の一員として、外国人に対する災害応急対策及び予防対策の支援体制づくりを行う。

2 外国人相談員配置事業【10,086千円】

外国籍県民が日常生活で直面している様々な問題の解決に向けて、日本に長年居住し、日本語及び外国語（ポルトガル語、タガログ語）が堪能な相談員を配置し、相談、助言の機会を提供する。また、外国人のための相談員や通訳員を配置していない県や市町村の行政窓口への派遣、地域に出向いての説明会や相談会の開催、県・市町村等の行政情報の翻訳を行い、多言語による情報提供を行う。

さらに、多様な相談に対応するため、専門家と連携して、「行政書士相談」、「カウンセラー（こころの）相談」等を実施する。

3 日本語指導者育成支援事業【1,797千円】

（1）日本語学習支援ボランティア研修事業

日本語学習を支える地域の日本語教室で教えるボランティアの掘り起こし及び育成を図るため、日本語学習支援ボランティアに対しての研修を実施。また、地域の要望に応じて、日本語教室の立ち上げのための研修を実施。

- ・対象：日本語学習支援ボランティア、これから実施しようとする者
日本語教室を立ち上げる市町村、市町村国際交流協会等
- ・内容：日本語指導者として必要なスキル、教室運営方法等の研修

（2）日本語教室連絡会議・研修会の開催

県内の日本語教室を活性化し、岐阜県における日本語教育の体制整備を図るため、連絡会議及び研修会を開催する。

- ・対象：日本語教室の運営者・活動ボランティア等
- ・内容：日本語教室の活動報告及び課題の発表・共有、情報交換、日本語教室の活動ヒントとなる研修

地域の国際化推進のための環境づくり

1 情報サービス事業【6,938 千円】

（1）交流サロン運営事業

日本人県民と外国籍県民の交流、情報提供や相談の場、及び個人や国際関係団体の活動支援の場として交流サロンを設置し、各種サービスの充実を図る。

- ・日本語教材や図書資料、国旗、会議室の貸出、メッセージボードの運営
- ・国際交流・協力や外国籍県民の日常生活の相談
- ・県・市町村の行政情報等の多言語翻訳
- ・語学講座、外国文化紹介を行う国際交流サロン、海外体験・留学の情報提供を行セミナーの開催
- ・国際交流員等による国際理解講座への講師派遣

（2）情報提供事業

センターや国際関係団体等の取り組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、在住外国人が母語で生活に役立つ行政関連情報等を多言語で提供するため、刊行物の発行やホームページを通じて発信する。

① 「世界はひとつ」の発行

- ・内 容：国際関係団体の取組み、外国人の生活情報、国際交流イベント情報を紹介
- ・発行部数：年3回、各2,800部（ホームページにも掲載）
- ・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語

② 「国際交流の窓」の発行

- ・内 容：県、市町村、教育機関及び国際関係団体の連絡先や実施事業の紹介
- ・発行部数：ホームページの掲載を基本とし、調査協力団体等のみ印刷物を送付

③ ホームページ及びフェイスブックの活用促進

平成24年12月に全面的にリニューアルしたホームページ及び同時期に開始したフェイスブックを積極的に活用し、当センター及び他団体の取組み、生活関連情報、イベント情報、県政情報等を多言語で積極的に情報発信する。

- ・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語

2 国際交流・協力事業【2,785千円】

（１）ハローギフ・ハローワールド開催事業

国際交流の啓蒙や知識の普及、国際相互理解の推進、一般県民と在住外国人の交流促進のため、本県に活動拠点を置く国際交流・協力団体、外国支援団体等が取り組む国際交流・協力活動を広く県民に紹介し、また、各国文化を様々なパフォーマンス、体験等を通じて紹介し、交流を深める。

（２）ブラジル人留学生の受入支援

県がブラジル県人会を通じて受け入れる県費留学生の教育・生活等が円滑に行われるよう学習・生活面でのサポートを行う。

（３）国際協力機構（ＪＩＣＡ）協力事業

ＪＩＣＡ（独立行政法人国際協力機構）が県内国際協力の窓口として配置している岐阜デスクの設置・運営を支援する。

（４）岐阜県国際交流団体協議会（ＧＩＡ）協力事業

県内の国際関係団体で構成し、団体間の情報交換、相互の連携、協力の推進を図るために活動している岐阜県国際交流団体協議会の事務局の設置・運営を支援する。

3 外国人留学生奨学金支給事業【3,611千円】

外国人留学生の経済的負担の軽減と学習支援、また、岐阜県の理解促進及び諸外国との友好

交流の促進のため、奨学金を支給するとともに、奨学生には、多文化共生・国際交流事業や岐阜県のPR等の取り組みへの参加を促進する。

- ・対象者：県内の大学・大学院、短期大学等で学ぶ私費留学生5名
- ・支給額：36万円（月額3万円、1年間）

ボランティア・民間団体の活動促進

1 ボランティア活動促進事業【8,031千円】

（1）ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流・多文化共生を推進するため、「語学(通訳・翻訳)」、「日本語学習支援」、「ホームステイ」の3分野におけるボランティアの募集・登録を行い、市町村や国際関係団体からの紹介依頼、当センターの各種事業への参加等による活動機会の提供を行う。

（2）岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業及び医療通訳ボランティア研修

平成24、25年度に岐阜県、医療機関と協力して実施した「岐阜県医療通訳ボランティア派遣システム実証実験」の結果を受け、関連医療機関の要望のもと、「岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業」を実施する。医療機関からの医療通訳業務依頼に対し、登録ボランティアの医療通訳業務斡旋を行う事務局を運営する。

また、当該事業の医療通訳ボランティアの登録者拡充を目指した登録試験の実施や、一般ボランティアを含む医療通訳技術のスキルアップを目指した研修・講座等を実施する。

（3）災害時語学ボランティア研修

災害時の語学ボランティアの発掘や育成、また、行政、地域国際交流協会、ボランティア等が連携して対応・体制整備等を検討するため、多言語支援センター設置等による防災訓練、避難所体験を行う。

2 国際交流・多文化共生推進助成事業【15,145千円】

県民主体の国際交流・協力並びに多文化共生社会づくり事業を促進するため、県内の団体又は個人が実施する多文化共生や国際交流・協力事業等に助成を行う。

- ・対象者：県内に活動拠点を有し、継続して国際交流・協力及び多文化共生の推進活動を行う団体
- ・助成率：国際交流・協力事業 対象経費の1/2以内（補助限度額 50万円）
多文化共生事業 対象経費の2/3以内（補助限度額 50万円）
ブラジル人帰国支援 対象経費の10/10以内

1 賛助会員の募集

当センターが実施する事業の開催時等の機会をとらえ、センター事業をPRするとともに、賛助会員の加入募集等を行う。

2 広告掲載の募集

当センターのホームページ及び広報誌「世界はひとつ」への広告掲載について、各種機会をとらえ、PRを行う。

平成26年度 前年比較予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増 減 a - b	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2	2	0	
基本財産受取利息	2	2	0	
特定資産運用益	35	28	7	
中国人留学生奨学基金受取利息	1	1	0	
外国人留学生奨学基金受取利息	1	1	0	
在住外国人支援相談員配置事業実施資金受取利息	3	5	△ 2	
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	30	21	9	
受取会費	749	800	△ 51	
賛助会員受取会費	749	800	△ 51	法人：100口×5千円 個人：83口×3千円
受取補助金等	45,834	49,912	△ 4,078	
受取県補助金	45,834	47,073	△ 1,239	
受取助成金	0	2,839	△ 2,839	
受取負担金	410	400	10	
受取参加者負担金	210	200	10	
受取国際協力推進事業負担金	150	150	0	
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50	50	0	
受取寄付金	1,800	1,800	0	
受取寄付金	1,800	1,800	0	外国人留学生奨学基金取崩 △720 中国人留学生奨学特別基金取崩 △1,080
雑収益	65	87	△ 22	
情報機器利益収益	5	5	0	
受取利息	30	52	△ 8	定期預金利息
広告掲載収益	30	30	0	
経常収益 計	48,895	53,029	△ 4,134	
(2) 経常費用				
事業費	56,955	61,279	△ 4,324	
非常勤専門職報酬	14,741	14,797	△ 56	
役員報酬	3,348	3,348	0	
職員手当	2,266	1,917	349	
法定福利費	5,341	5,222	119	
報償費	2,464	1,951	513	
費用弁償	525	622	△ 97	
業務旅費	980	1,396	△ 416	
消耗品費	1,512	1,680	△ 168	
会議費	24	25	△ 1	
光熱水費	646	640	6	
印刷製本費	983	1,328	△ 345	
修繕料	60	0	60	
通信運搬費	1,215	1,365	△ 150	
手数料	24	24	0	
保険料	84	84	0	
委託料	4,296	7,954	△ 3,658	
賃借料	3,906	4,200	△ 294	
負担金	5	5	0	
助成金	11,513	11,620	△ 107	
奨学金	1,800	1,800	0	
公課費	6	7	△ 1	
賞与引当金繰入	603	570	33	
減価償却費	613	724	△ 111	

(単位：千円)

科 目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増 減 a - b	備 考
管理費	9,731	8,785	946	
非常勤専門職報酬	349	293	56	
役員報酬	4,238	4,238	0	
職員手当	688	476	212	
法定福利費	1,088	927	161	
費用弁償	185	185	0	
業務旅費	205	275	△ 70	
交際費	20	30	△ 10	
消耗品費	240	231	9	
対外交流費	16	16	0	
会議費	49	49	0	
光熱水費	158	140	18	
印刷製本費	20	18	2	
修繕料	19	38	△ 19	
通信運搬費	184	172	12	
手数料	210	166	44	
保険料	0	0	0	
委託料	0	0	0	
賃借料	925	822	103	
消耗什器備品費	437	37	400	
負担金	270	270	0	
賞与引当金繰入	274	233	41	
減価償却費	156	169	△ 13	
経常費用 計	66,686	70,064	△ 3,378	
当期経常増減額	△ 17,791	△ 17,035	△ 756	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 17,791	△ 17,035	△ 756	
一般正味財産期首残高	100,712	114,864	△ 14,152	
一般正味財産期末残高	82,921	97,829	△ 14,908	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 1,800	△ 1,800	0	外国人留学生奨学基金取崩 △720 中国人留学生奨学特別基金取崩 △1,080
当期指定正味財産増減額	△ 1,800	△ 1,800	0	
指定正味財産期首残高	11,700	13,500	△ 1,800	
指定正味財産期末残高	9,900	11,700	△ 1,800	
III 正味財産期末残高	92,821	109,529	△ 16,708	

4 資 料

1 図書・資料整備状況（平成26年4月1日現在）

図 書	冊 数
和書・洋書	74

(2)新聞・雑誌

<新聞>

新 聞 名	言 語
The Japan Times	英 語

<週刊・隔週誌>

雑 誌 名	言 語
SUPER INTERESSANTE	ポルトガル語

<月刊誌>

雑 誌 名	言 語	雑 誌 名	言 語
ひらがなタイムズ	日・英語	国際人流	日本語
ENGLISH JOURNAL	日・英語	聴く中国語	日・中国語

(3)刊行資料等

内 容
医療通訳教本（中、ポルトガル、タガログ、日本語併記、岐阜県国際交流センター、2011）
ポケット版防災ガイド（英、中、ポルトガル、日本語併記、2010）
パンフレット「会社が伸びる外国人雇用」（日本語、2010）
地震防災ガイドブック（英、中、ポルトガル語）（岐阜県、2006）
岐阜県生活ガイドブック（英・中・ポルトガル語）（岐阜県国際交流センター、2008）
岐阜はやわかりブックINSTANT GIFU（英語）（岐阜県国際交流センター、2002）

(4)辞書・辞典

言 語	名 称
日本語	日本語大辞典（講談社） 広辞苑（岩波書店） 対訳日本辞典（講談社インターナショナル） カタカナ外来語／略語辞典（自由国民社）

言 語	名	称
英語	現代英英辞典（開拓社） 新英和大辞典（研究社） ワーズワード（同朋舎出版） ランダムハウス英和大辞典（小学館） コンサイス外国人名事典（三省堂） 日本紹介英語会話表現辞典（旺文社） 英和ビジュアルディクショナリー分解博物館（同朋舎出版） 英語日本図解字典（小学館）	新漢英字典（研究社） 新和英大辞典（研究社） 日本医学会医学用語事典（南山堂） コンサイス外国山名辞典（三省堂） 医学英和大辞典（南山堂）
中国語	中日大辞典（大修館書店）	日中辞典（小学館）
韓国語	日韓辞典（民衆書店）	韓日辞典（三修社）
フランス語	スタンダード和佛辞典（大修館書店）	仏和大辞典（小学館）
ポルトガル語	Dicionário Conciso(Da Língua Portuguesa) 現代ポルトガル語辞典（白水社）	現代日葡辞典（小学館）ほか
スペイン語	西和中辞典（小学館）	和西辞典（白水社）
オランダ語	オランダ語辞典（講談社）	
イタリア語	伊和中辞典（小学館） 和伊中辞典（小学館）	イタリア料理用語辞典（白水社）
ロシア語	コンサイス露和辞典（三省堂） 露和辞典（研究社）	コンサイス和露辞典（三省堂）
ペルシア語	日本語ペルシア語辞典（大学書林）	
ハンガリー語	ハンガリー語小辞典（泰流社）	
ミャンマー語	ビルマ語辞典（日本ビルマ文化協会）	
マレー語	日本語ーマレー語ー英語辞典（国際語学社）	
ラテン語	Latin Dictionary (ROUTLEDGE)	
ドイツ語	現代和独辞典（三修社）	現代独和辞典（三修社） 独和大辞典（小学館）

【国際交流サロン】



【図書資料コーナー】

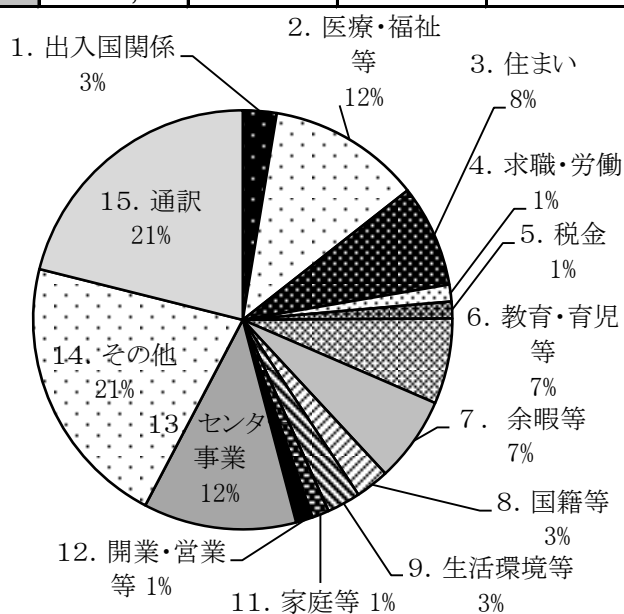


2 交流サロン利用状況

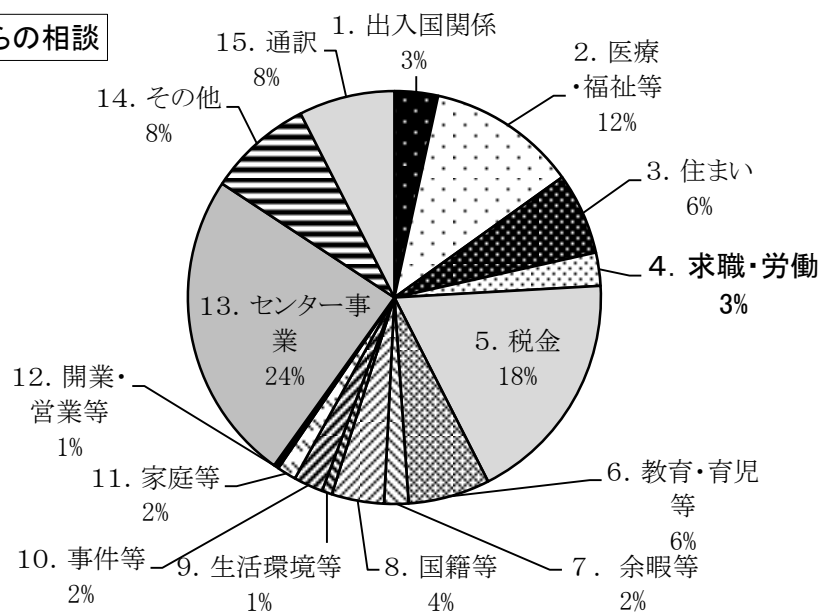
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

項 目		日本人		外国人	
		件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
相 談		76	100.0	266	100.0
内 訳	1. 出入国関係	2	2.6	9	3.4
	2. 医療・福祉・年金	9	11.8	31	11.7
	3. 住まい	6	7.9	17	6.4
	4. 求職・労働	1	1.3	7	2.6
	5. 税金	1	1.3	49	18.4
	6. 教育・育児・子ども相談	5	6.6	17	6.4
	7. 余暇・文化・交流	5	6.6	5	1.9
	8. 国籍・婚姻・離婚	2	2.6	11	4.1
	9. 生活環境・消費	2	2.6	2	0.8
	10. 事件・事故	0	0.0	6	2.3
	11. 家庭・くらし一般	1	1.3	4	1.5
	12. 開業・営業許可等	1	1.3	1	0.4
	13. センター事業	9	11.8	65	24.4
	14. その他	16	21.2	22	8.2
	15. 通訳	16	21.1	20	7.5
利 用		2,914		503	
相談・利用合計		2,990		769	

日本人からの相談

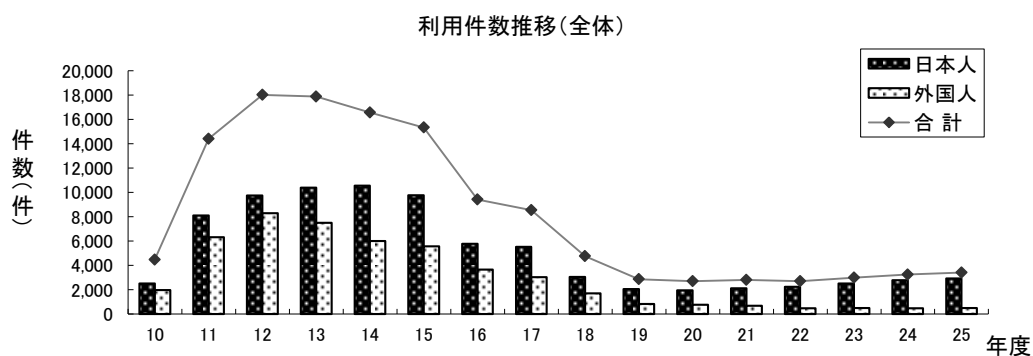
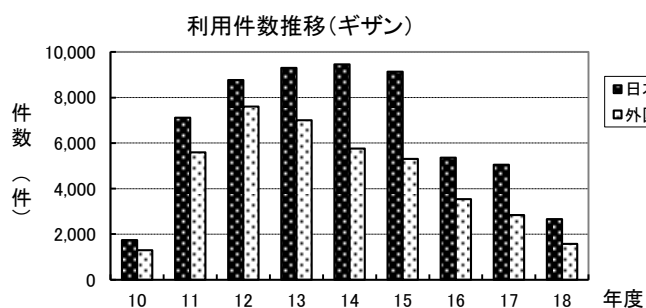
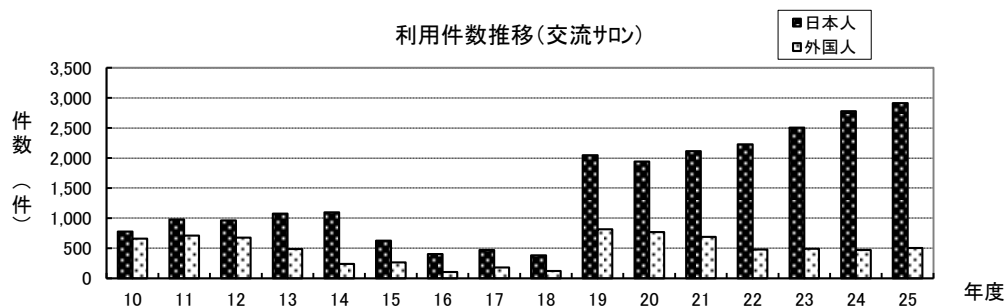


外国人からの相談



(3) 交流サロン相談・利用件数推移

年度		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
交流サロン	日本人	776	982	962	1,078	1,099	626	404	473	384	2,049	1,945	2,118	2,229	2,506	2,779	2,914
	外国人	661	709	676	486	241	263	104	181	121	815	770	688	478	492	470	503
ギザン インターナショナル センター(H10- H18)	日本人	1,741	7,118	8,777	9,302	9,459	9,140	5,369	5,054	2,670							
	外国人	1,304	5,594	7,607	7,009	5,766	5,310	3,538	2,845	1,580							
合計	日本人	2,517	8,100	9,739	10,380	10,558	9,766	5,773	5,527	3,054	2,049	1,945	2,118	2,229	2,506	2,779	2,914
	外国人	1,965	6,303	8,283	7,495	6,007	5,573	3,642	3,026	1,701	815	770	688	478	492	470	503
合 計		4,482	14,403	18,022	17,875	16,565	15,339	9,415	8,553	4,755	2,864	2,715	2,806	2,707	2,998	3,249	3,417



3 新聞記事

(1) 在住外国人支援事業

10年後の自分に胸躍る

大垣市上面のブラジル人学校、HIRO学園で14日、高等部の生徒らを対象にした進路指導学習があり、日系ブラジル人の生徒ら34人が10年後の夢を発表した。



10年後の夢を発表した生徒ら＝大垣市上面、HIRO学園

ブラジル人生徒が夢発表
HIRO学園
進路指導学習

「女優」や「生物学者」目輝かせ

夢を持ち、進路を考えてもらおうと、県国際交流センターが開いた。

生徒らはグループに分かれ、10年後の2024年に何をしたいかを発表。「米国で女優になる」「世界で活躍するイベントプロデューサーになる」「日本が好きだから日本で漫画の道に進む」などと夢を語った。同学園OBで現在、中国・北京の大学で学ぶ男性も登場し、国際ビジネスの世界で活躍する夢を語った。

「生物学者になって自分の動物園、水族館を持ちたい」と話したミシェリ・川村・ジャコブさん(15)は、各務原市は、「自分の夢を語ることで自身にも刺激になった。支えてくれる両親のためにも頑張りたい」と話した。15日も授業を行い、日本でのビジネスマナーや就職活動の面接の仕方を学ぶ。

(馬田泰州)

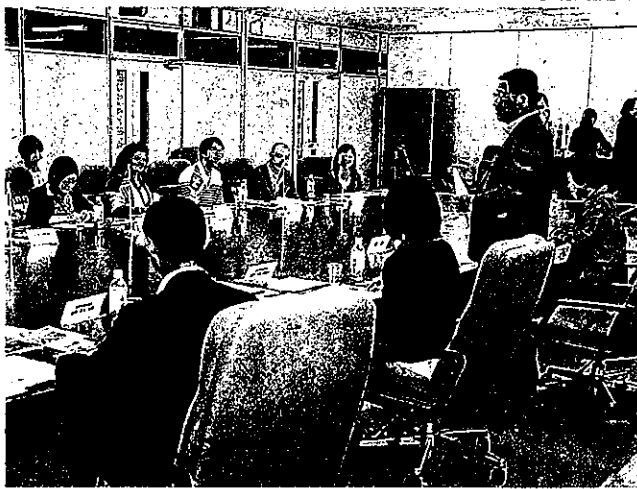
岐阜新聞 H26. 1. 15 朝刊

(岐阜新聞社提供)

(2) 情報サービス事業

県の魅力、外国人と探る

河合雅子さん
コーディネーター 古田知事が意見交換



古田知事と懇談する在住外国人＝県庁

県内に住む外国人91人。外国人の一人は人となりと古田知事が17日「清流」のイメージを県庁で懇談し、県の魅力「心が安らぎ、人間が力を世界に発信する方平和になれる空間」な法について意見を交わすと話し、「空気がき

を」と提言した。

県国際交流センターが開き、ブラジル、中国、インドネシアなど9カ国の出身者が参加。ぎふ善意通訳ガイドネットワーク代表の河合雅子さんがコーディネーターを務めた。マレーシア出身でイビデンに勤務するノール・アシン・ビンティ・モハメド・ノールさんは「岐阜はゆつくりくつろぎたい人には向いている。セカンドホームにできればいい」と評価。フランス出身の岐阜大准教授ジル・ゲランさんは「岐

阜の人も日本でどこかいる米国出身のダスティイイかと聞くと、京都ン・グスタフソンさんを薦める。私なら古里は「9月に世界脳神経を紹介する。もっと岐看護学会が岐阜で開かれる」と紹介し、国際会議誘致を促した。

木沢記念病院に勤め

(驚見進)

岐阜新聞 H25. 5. 18 朝刊
(岐阜新聞社提供)

のど自慢や民族衣装試着

国際交流の輪広がる

県民と県内在住の外国人が多彩なイベントを通じて国際交流を図る「ハローキフ・ハローワールド2013」が14日、岐阜市日ノ出町のわくわく広場とCINEXホールで開かれ、約3千人の来場者が異国の文化との触れ合いを楽しんだ。

(生駒美江)

岐阜市で イベント 各国の文化を紹介



外国人のどじまん大会に出場し、国歌を熱唱したフランス人留学生ら。岐阜市日ノ出町、わくわく広場

県国際交流センターと、県内の国際交流団体でつくる県国際交流団体協議会が主催し、今年で25回目。今回は26団体が参加し、中国やブラジル、チリなど各国の文化を紹介する写真展や食品の試食販売、民芸品の展示即売、サリーやチマ・チヨゴリといった民族衣装の試着などがあった。

ステージは、岐阜高校音楽部による「月の砂漠」など日本の愛唱歌で幕開け。外国人のどじまん大会には12カ国から15組25人の出場

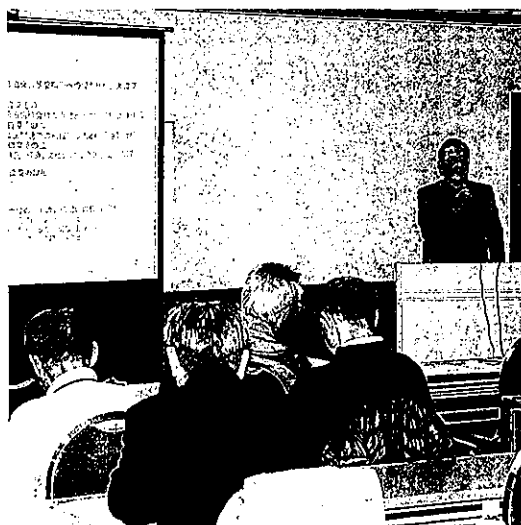
があり、フランスから勝ったロシア語教師の短期留学生9人組はワカルキナ・バレンテパリ祭にちなみ、国歌「ラ・マルセイーズ」が応援に来てくれてうを歌った。門倉有希のれしかった」と喜びを「フー」を熱唱して優語った。

岐阜新聞 H25. 7. 15 朝刊

(岐阜新聞社提供)

(4) 日伯・日中交流の周年関連事業

岐阜市出身、日本人のブラジル移住に尽力



平生夙三郎をテーマにした講演会
＝岐阜市藪田南、ふれあい福寿会館

平生夙三郎の業績紹介

岐阜市出身で日本人のブラジル移住に影響を与えた実業家、平生夙三郎（1866～1945年）をテーマにした講演会が20日、岐阜市藪田南のふれあい福寿会館で開かれ、研究者2人が平生の業績、考え方を紹介した。岐阜県からブラジル移住100周年を記念するイベント「岐阜・

100周年記念で講演会

ブラジル交流ウィーク（県、東京海上白市）を設立。1936年には文部大臣を務めた。岐阜新聞・ぎふチャンネルの協力の一環で開かれた。平生は岐阜市加納出身。東京海上火災保険専務を務めたほか、社長として川崎造船所（現・川崎重工）を再建するなど経済界で活躍した。教育にも力を注ぎ、甲南学園（神戸）を設立。1936年には文部大臣を務めた。業績の一つが日本人のブラジル移住を確保したこと。35年、日本人移民を制限しようとしていたブラジルに渡り、貿易を拡大することと関係を好転させた。講演会は甲南学園の

協力を受けて開き、甲南大非常勤講師の高田博次さんと日伯経済文化協会専務理事の栗田政彦さんを講師にした。高田さんは「平生は現地にも利益が出るよう共存共栄の考え方で移民を考えていた」と話し、今に通じる平生の考え方をたたえた。

（馬田泰州）

岐阜新聞 H25. 11. 21 朝刊

（岐阜新聞社提供）

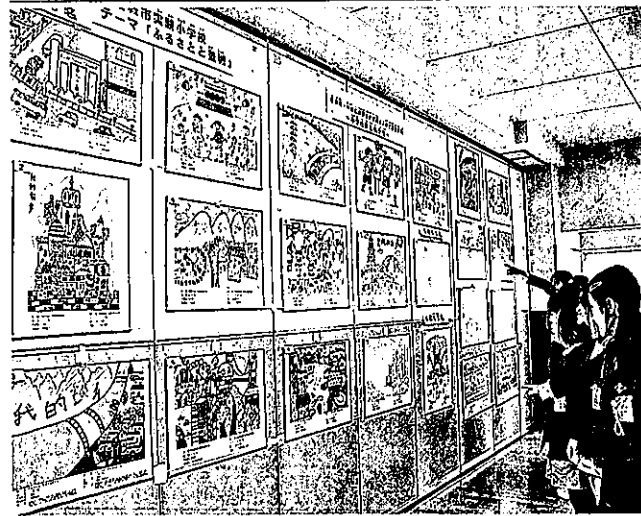
中国の児童が 描いた絵展示

安八町

県、江西省友好25周年を記念

県と中国江西省の友好省豊城市実験小学校の好提携25周年を記念し、中国の児童が描いた絵画の作品展が15日、安八郡安八町大明神の名森小学校で始まった。24日まで。

展示会は、県国際交流センターと江西省人民対外友好協会による両国の小学校間の絵画交流の一環で実施。同



る。
昨年11月に中国で開かれた展示会に出品した名森小5、6年の児童51人が描いた絵画のうち、実験小の児童が

投票で選んだ上位3人の作品も展示。同町のマスコットキャラクター「アンビー」を切手を貼り合わせたり、水彩で表現した作品などが並ぶ。

海津市海津町駒ヶ江の東江小学校では2月12～21日まで、同省の南昌師範付属実験小学校玉泉島キャンパスの児童の絵画展が開かれる。(高橋友基)

中国の児童が描いた絵画に見入る名森小学校の児童。安八郡安八町大明神、同小学校

岐阜新聞 H26. 1. 16 朝刊

(岐阜新聞社提供)

掲載記事は新聞社の許諾を得て転載しています。

4 賛助会員

(敬称略)

団体(53団体)	個人(76人)
朝日大学	菅野 正喜
アルク Kiddy CAT英語教室 羽島 マザーグース教室	葛西 利充
いちき皮膚科	平工 佳代子
揖斐川工業(株)	金原 利幸
(公財)AFS日本協会 岐阜支部	伊藤 恒夫
NPO法人 可児市国際交流協会	吉田 英一
(公財)オイスカ岐阜県支部	若山 直美
(株)大垣共立銀行	遠藤 洋平
大垣市	青谷 美恵子
海津市	藤本 きよみ
学校法人篠田学園かぐや第一幼稚園	篠田 昭勝
(株)岐阜グランドホテル	山縣 知津子
(一財)岐阜県環境管理技術センター	富田 みどり
岐阜車体工業(株)	熊田 行雄
岐阜県チェコ友好協会	辻 明美
岐阜県土地改良事業団体連合会	狭間 美絵
岐阜県農業協同組合中央会	渡辺 義明
岐阜県ユネスコ協会	浅野 勇
岐阜さくらの会	近藤 良子
岐阜聖徳学園大学	中西 愛
岐阜女子大学	今井 信行
岐阜信用金庫	天野 利香
岐阜日独協会	後藤 喜代子
岐阜東高等学校	江尻 釣
岐阜ロータリークラブ	高沢 希
(株)共立総合研究所	永田 雅子
郡上八幡国際友好協会	野村 守
県立岐阜北高等学校	西川 夏織
県立岐阜商業高等学校	野田 和男
県立岐阜農林高等学校	小林 誠一
県立多治見北高等学校	伊藤 純規
県立東濃高等学校	野口 武彦
神戸町	栗田 庸市
在日本大韓民国民団岐阜県地方本部	篠田 薫
(株)十六銀行	福井 玲子
白川町	神徳 洋子
白川村	鈴木 禮子
関ヶ原町	松井 澄子
関市国際交流協会	松井 直樹
全国共済農業協同組合連合会岐阜県本部	三宅 万里子
高山西高等学校	高木 敏治
多治見市	森山 章
垂井町	西部 理恵
東海学院大学	徳丸 順教
富田高等学校	本間 悠太郎
中津川市	島塚 眞澄
日本耐酸塩工業(株)	岩田 みどり
日本プロパワー(株)	中奥 宏美
羽島市	後藤 光良
ピノキオ商事株式会社	原 哲治
美濃加茂市	服部 さかえ
八百津町	笹島 シゲオ
連合岐阜	谷本 繁彦
	加納 純二
	大野 満知子
	河合 寿子
	山口 真緒
	高橋 健一
	刈谷 菜生
	高橋 なおみ
	山口 友紀恵
	船山 和子
	今泉 啓子
	下條 卓郎
	佐伯 未知香
	尹 麗梅
	所 政子
	廣瀬 加純
	河野 節子
	三宅 正哉
	森島 節子
	岡田 恵美子
	角原 伊公未
	吉岡 君枝
	辻 英里佳
	衣笠 秀子

平成26年3月末現在



公益財団法人 岐阜県国際交流センター

開館時間 日曜日～金曜日 9:30～18:00（電話受付は9:00から開始）

住 所 〒500-8875 岐阜県岐阜市柳ヶ瀬通 1-12

岐阜中日ビル2F

T E L 058-214-7700

F A X 058-263-8067

E-mail gic@gic.or.jp

URL <http://www.gic.or.jp>



年報 2013年度

発行年月日 平成26年7月31日

発行・編集 公益財団法人 岐阜県国際交流センター

